

みやぎ県民大学・第 10 回東北大学災害制御研究センター公開講座(1 日目)を開催しました(2011/8/27)

当センターでは、地域貢献の一貫として、自然災害の軽減や防災戦略に関する研究を一般の方々にもわかりやすく解説するために、毎年1回、センター公開講座を開催しています。今年は、みやぎ県民大学（宮城県）との共催で、「やさしく学べる防災・減災の基礎知識」というテーマで、2011年3月11日に発生した東日本大震災の地震・津波被害と今後の備えについて、特にやさしく学べる内容を2日間にわたって開催する運びとなりました。8月27日(土)、東北大学片平さくらホール（仙台市）にて、その1日目として「津波災害の実態と今後の備え」というサブテーマで計5つの題目の講座が開かれました。事前・当日併せて98名の受講申込み・ご来場があり、講座中熱心にメモをとる受講者の方々のほか、熱心に質問する受講者の姿が多くみられました。次回は9月3日(土)に「地震災害の実態と今後の備え」というサブテーマで開催されます。1日目に開かれた講座題目は次の通りです：

「東日本大震災の津波の発生と影響」

「津波と土砂移動の影響に関する貞観津波との類似点・相違点」

「東北地方太平洋沖地震津波の被害と地域の復興に向けて」

「海岸堤防の被災と復興」

「海岸林の被害と減災効果」

教授・今村 文彦

研究員・菅原 大助

准教授・越村 俊一

教授・真野 明

助教・今井 健太郎



ほぼ満席の会場



今村教授



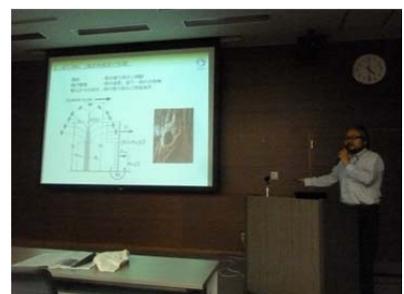
菅原研究員



越村准教授



真野教授



今井助教